

別紙

福祉サービス第三者評価の結果

1 評価機関

名称：特定非営利法人 環境・福祉事業評価センター	所在地： 長野県長野市南高田2-5-16
評価実施期間： 令和5年8月28日から令和6年3月12日	
評価調査者（評価調査者養成研修修了者番号を記載） 050301 B18055 060963	

2 福祉サービス事業者情報（令和5年12月現在）

事業所名： （施設名）飯田市座光寺保育園	種別：認定こども園（保育所型）	
代表者氏名：市長 佐藤 健 （管理者氏名）園長 野神 美穂	定員（利用人数）：110（78）名	
設置主体：飯田市 経営主体：飯田市	開設（指定）年月日： 平成17年6月1日	
所在地：〒395-0001 飯田市座光寺1716		
電話番号：0265-22-1147	FAX番号：0265-22-1147	
電子メールアドレス：ns-zakouji@city.iida.lg.jp		
ホームページアドレス：https://www.city.iida.lg.jp/		
職員数	常勤職員：21名 非常勤職員 名	
専門職員	（専門職の名称） 名	
	保育士 18名	
	調理員 3名	
施設・設備 の概要	（居室数）	（設備等）
	乳児室 1室	ブランコ、複合遊具、雲梯、砂場（以上児用、未満児用）、あんぱんまん号すべり台、3間低鉄棒、6人用かさ型ハント棒
	ほふく室 1室	
	保育室 7室	
	調理室 1室	
	事務室 1室	
	遊戯室 1室	
	便所 5室	
	相談医務室 1室	
調乳・沐浴室 1室		

3 理念・基本方針

飯田市保育理念

飯田市の自然や文化・歴史など恵まれた環境の中で、すべての子どもたちが心身とも健やかに育つ事を願い、子どもの最善の利益を考慮し、地域との連携を図りながら、保護者とともに、現在未来をよりよく生きる力を培います

飯田市公立保育園保育目標

1. 健康でたくましい子ども
2. 自分から進んでやる子ども

3. 友だちと仲良く遊ぶ子ども

4. よく考える子ども

5. 心豊かな子ども

座光寺保育園目標

- ・ 元気良くあいさつ、返事をする子ども
- ・ 友達と仲良く遊ぶ子ども
- ・ 自分のことを自分でしようとする子ども
- ・ 優しく心豊かな子ども
- ・ なんでも食べる子ども

4 福祉サービス事業者の特徴的な取り組み

座光寺保育園は、座光寺地区の河岸段丘の上段にある。奈良・平安時代からの歴史のある地域で、麻績の里として地域における政経の中心地であるばかりでなく、国政上重要な位置を占めている地域で重要な文化資源がある。現在この地域は、一部で市街化の進行傾向がみられる地域であるが、近年の人口動態は、横ばい状況となっている。地形的には、段丘を境に上段と下段に分かれ、自然環境では、上段は果樹園地帯、下段は田園地帯が広がっており、良好な住環境と優良農用地に恵まれている。3 世代同居が年々減り 2 世帯形式の核家族世帯が増加している。学校などの教育施設が多く立地している地域で、座光寺小学校や児童センターと隣接している。地域東部を縦断する国道 153 号沿いには商業集積がみられ今後、リニア中央新幹線開通を見据えた計画に基づく土地利用の検討が必要な地域である。

園は平成 17 年に開設した環境を重視した保育園である。二酸化炭素排出量の削減やクリーンエネルギーの利用、資源の再利用や省エネルギーを目指し、木質ペレットを利用したボイラー、ソーラー発電システムの設置、オール電化厨房、内装材や壁材に県産材を使用、雨水を地下タンクに貯蔵し、園庭や菜園の散水に使っている。園児数は、0 歳児 2 人、1 歳児 10 人、2 歳児 7 人、3 歳児 18 人、4 歳児 16 人、5 歳児 25 人の計 78 人である。中規模保育園として子どもの主体性を大切に出来る環境にあり異年齢保育を取り入れている。付加的なサービスとして、非定型的保育サービスと保護者の傷病、災害等の緊急保育サービスとして緊急預かり事業と世代間交流事業として地域の老人サークルなごやかグループによる親子陶芸教室、生き生き教室、グループホーム等を訪問している。また異年齢児交流等事業として、未就園児交流「あんばんまんの会」では地区外も含め 0 歳児から未就園の子どもと年 12 回交流している。また、毎週火曜日に園を開放し、親子交流を行っている。

座光寺の自然の中で遊びながら、いろいろな実体験を楽しみ五感を育み、散歩、運動、遊びを通して体づくりをしている。近くにある遊びの森は自然の中でいろいろな実体験ができ、のびのび遊んで発見や感動の声飛び交っている。地域交流では、老人クラブ、親子陶芸教室、農家での体験、梅とり、桃狩り、りんご狩り、干し柿、座光寺ビオトープ、さといも掘り、虫取り、草花摘みを実施している。職員も地域行事に参加し、地域の夏祭り、人形劇、運動会、文化祭、水辺の広場、子どもを語る会などに積極的に参加し、地域の方々とのつながりを深めながら、子どもたちとの橋渡しをしている。小学校交流では隣に小学校があり、頻繁に行き来をしている。学校行事に呼んでいただいたり、夏休みの間は学校プールを毎日利用している。

5 第三者評価の受審状況

受審回数（前回の受審時期）	0回（今回初受審）
---------------	-----------

6 評価結果総評（利用者調査結果を含む。）

◇特に良いと思う点

①利用者満足度の高いサービスを実施している。

利用者調査の《施設環境》では「落ち着いて過ごせる雰囲気である」、《毎日の保育に内容》では、「登校時に、家庭でのお子さんの様子等について、園に気軽に声をかけることができますか」、「食事のメニューは充実していますか」、「散歩等で戸外に出る機会が多いですか」、「お子さんの発育や意欲を促すような活動・遊びは行っていますか」、「担当保育士はお子さんの良い所や個性を認めていますか」、「お迎えの時に、園でのお子さんの様子について、園から気軽に話を聞くことができますか」、「お迎えの時に、お子さんが満たされた表情や喜んだ表情をしていることが多いですか」、「開園時間であれば、保護者の急な残業や不定期な業務への対応は柔軟に行われていますか」、「保育中の発熱など病気への対応は適切ですか」、《保護者の方の保育園との関わりや交流》では「子育てに関する気掛かりな点や悩み等について、気軽に個別相談に応じてくれる」、「保護者のいろいろな意見や価値観に理解を示していると感じる」、《地域の交流》では、「行事を通して、地域住民との交流を図っている」の13項目について、利用者アンケートでは90%以上が「はい」と回答し、高い満足度を得ている。特に「お子さんの発育や意欲を促すような活動・遊びは行っていますか」は全員が「はい」と回答している。経験豊かな保育士が多く、豊富な経験とアイデアを活かしている。標準的な保育については、飯田市役所子育て支援課と飯田市公立保育園園長会によって作成されている保育者ハンドブック「ほほえみ」により共通化が図られている。そして特に異年齢保育に力を入れている。異年齢のクラスと年齢別のクラスを並行して保育を実施し、園庭では、異年齢の中でのびのび遊んでおり長年の取り組みの成果が利用者満足度に出ている。

②「いいだ型自然保育」で工夫と感性を磨いている。

「信州やまほいく（信州型自然保育）」の認定を受け、里山の豊かな自然環境の中、「いいだ型自然保育」に取り組んでいる。座光寺保育園は、園庭と園周辺をテーマに、広い園庭で虫眼鏡を手に毎朝探索し、バッタ、カエル、みのむしの捕獲や飼育を通して命の大切さを考えるようになっている。生き物の「うんち」や釜戸作りでの火の体験を通じ、不思議、発見を共有している。近くの秋の田んぼで遊んだり、畑でトマトの収穫を楽しんでいる。そして、出かけた場所は里山マップにするなど活動の幅が広がっている。出かける場所は、事前に危険箇所を調べ確認してから計画し、園外実施記録として残し安全な園外活動ができるよう取り組んでいる。

③環境に配慮した保育を実施している。

座光寺保育園は環境を重視した保育園で、二酸化炭素排出量の削減やクリーンエネルギーの利用、資源の再利用を目指している。特に木質ペレットを利用したボイラー、ソーラー発電システム、オール電化厨房、内装材や壁材に長野県産の木材を使用し、木の温かみに直接触れられる。また、雨水を地下タンクに貯蔵し、園庭や菜園の散水に利用、園庭を一部芝生化し、空調に係る負荷を軽減している。また、「がんばるはらぺこくん」として残菜やもみがらを生ごみ処理機によりリサイクルすることができ、たい肥化し活用している。更に、「南信州いいむす21」の環境マネジメントシステムを導入し、飯田市の保育理念を踏まえ環境方針を2023年4月1日に制定し、「自然の中で遊びながら感性を磨き自己肯定感を育みます。自然を通して命の大切さを学びます。資源のリサイクル、エコ活動に取り組みます。」等の取り組み目標を掲げ取り組んでいる。

◇特に改善する必要があると思う点

①安心、安全の全体的な取り組みについて定期的な見直し。

子どもの安心、安全な取り組みでは、非常災害時の対策として月1回の火災想定等の避難訓練が実施されている。また、食物アレルギー対応や衛生管理も適正に維持管理している。利用者アンケートにあるように保護者の安心、安全の関心は高く要望が多い項目である。危機対応を定めさまざまな危機管理に取り組んでいるが改善点や見直す事項はないかささまざまな観点から定期的に検討することを推奨する。具体的には、新省令に基づく安全計画を参考にマニュアルの見直し

時期の明示、安全計画を保護者に知らせるための玄関への掲示やおたよりでの周知、散歩コースの定期点検、近くの道路や散歩に通る道路について道路管理者とゾーン 30 やキッズゾーンの検討、不審者対応での防犯カメラの設置、園の裏側の出入りの管理について検討されることを推奨する。またBCP（事業継続化計画）については検討を期待する。

②業務負担軽減の取り組み。

保育の現場・職業の魅力向上には、保育士にとって生涯働ける魅力ある職場づくりを行うことが不可欠である。そのためには、園長が組織運営のためのマネジメント力を向上させ、職員と業務負担の軽減や働き方の見直しなどについて話し合い、保育士として働くことの魅力とやりがいを感じられる勤務環境にしていくことが求められている。正規職員以外に会計年度任用職員として担任補助や代替の職員を充実させている点は評価できる。業務負担の軽減では、保育士が子どもたちから離れ、事務作業などを行うことに専念するノンコンタクトタイムの確保による働き方の見直し、保育の現場における計画・記録など保育士の書類作成業務の見直しや保育補助者の活用、パソコン、タブレットやスマートホンを活用したICTを周辺業務に活用し始めているので更に推進した取組みで業務の軽減に繋がることを期待する。また、保育の現場では、感染症やけが等緊急事態の発生で現場での対応が求められる。大規模な保育園では看護師の採用で保育士の負担軽減につながっているケースがあるので今後の検討課題とすることを推奨する。

③園の方針や取り組みの積極的な発信。

利用者調査では「保育園の基本的な考え方（保育目標・保育方針）を知っていますか」の回答で「はい」とする保護者は54%であった。入園時の説明会等で周知されているが、園の方針を知ってもらい地域や保護者の理解と協力を得る上で周知に努めてほしい。また、園の方針や計画の成果についても会報や様々な機会に伝えてほしい。「いいだ型自然保育」や「南信州いいむす21」の環境方針や取り組み目標についても併せて積極的に発信することを期待する。

7 事業評価の結果（詳細）と講評

共通項目（別添1）

内容評価項目（別添2）

8 利用者調査の結果

アンケート方式の場合（別添3-1）

9 第三者評価結果に対する福祉サービス事業者のコメント（別添4）

（令和6年 3月 6日記載）

今回、職員でアンケート項目一つひとつについて考えた時、莫大な量の項目に驚くのと同時に自分たちの保育、仕事を振り返るうえでよい機会になりました。特に、「保育園の基本的な保育方針、保育理念、保育目標」について保護者の方にどれだけ伝えてきたでしょうか、入所説明会に話ただけで終わっていなかったか…案じていた通り利用者からこの部分に関して 54%と低い回答でした。保護者の方と共に子育てをしていくうえで一番基本のところができていなかったことに施設長として深く反省をしています。折に触れて子どもの姿を通して伝えていくこと、保護者や地域の方への発信の仕方も含めて職員皆で話をして、積極的な発信に心がけていきたいと思います。

「安心、安全な保育の取り組み」について、保護者の方の関心が高いこと、不安が大きいことを感じ、何かあった時の訓練だけではなく、何かないように環境を整えること、職員の意識を高めることが大事だと思いました。そして、保護者に伝えていき安全の為に一緒に考えていくことが必要だと思いました。これについても保育園で行っていることを保護者の方に伝えていく努力がより必要と思いました。

「環境に配慮した保育の実施」について「保育」と「いいむす」は関連性があるとお話をお聞きし、まさに、いいだ型自然保育の中で私たちが目指している保育がそのものだと感じました。飯田の自然や文化・歴史など恵まれた環境の中で地域との連携を図りながら、保護者と協力し合っって子ども達が心身ともに健やかに育つことを願い、命の大切さを学び、人との関わりを大切に、自分を大切にできる子どもを育てていきたいと改めて感じました。

今回の第三者評価を受け、異年齢保育の取り組みの成果が利用者満足度に出ているという評価をいただきましたことに大変うれしく思います。改善事項についてはしっかり振り返り、保護者や地域の方々と協力しながらよりよい保育に努めていきたいと思います。

調査委員の皆様には細部にわたりご指導、ご助言をいただきましたこと、心より感謝申し上げます。ありがとうございました。